

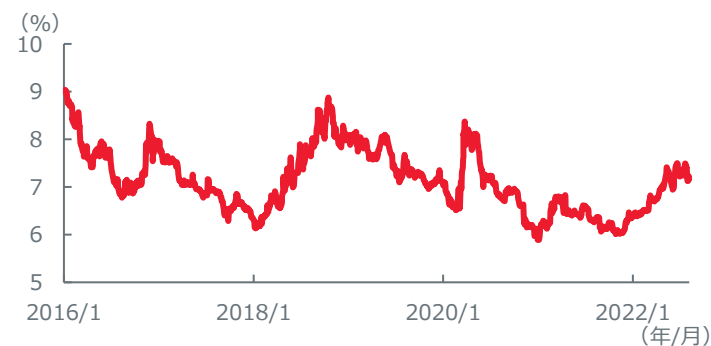
(対象期間：2022/8/1～2022/8/5)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移  
(2016年1月4日～2022年8月5日)

## 【株式市場】

1日のインドネシアの株式市場は前週末の銀行の好調な決算発表受け大手銀行株を中心に上昇しました。2日は台湾を巡る米中の緊張の高まりから上値の重い展開となりましたが、大手銀行株が引き続き買われましました。3日はエネルギー株とハイテク株がけん引し続伸しました。4日は材料難の中横ばいとなりましたが、引き続きハイテク株などは堅調となりました。5日に発表された第2四半期のGDPは前年同期比5.44%増加し、市場予想の同5.17%増を上回りました。これを受け株式市場は底堅い展開となり、インドネシア株式市場は前週末比上昇しました。

2022/7/29	2022/8/5	変化率
6,951.12	7,084.66	+1.92%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2022年8月5日)

## 【債券市場】

1日に発表された7月の消費者物価指数(CPI)は食料品価格の高騰を背景に前年同月比+4.94%とインドネシア中央銀行(BI)のインフレ目標レンジ(2-4%)の上限を上回りましたが、BIが注目をしているコア・インフレ率は同+2.86%と引き続きレンジ内となりました。2日は台湾を巡る米中関係の緊張の高まりからリスク回避の動きが強まり国債利回りは大幅に上昇(価格は下落)しました。5日は同日発表の第2四半期のGDPが予想を上回ったことを好感し利回りは低下しました。インドネシア10年国債利回りは前週比上昇しました。

2022/7/29	2022/8/5	変化幅
7.122	7.156	+0.034

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2022年8月5日)

## 【為替市場】

1日に発表された7月のCPIが7年ぶりの上昇幅となりましたが、コア・インフレ率が落ち着いていることなどから為替市場への影響は限定的となりました。2日以降は台湾を巡る米中の緊張の高まりからリスク回避姿勢が強まりルピアは対米ドルで下落しました。5日に発表された7月の外貨準備高は1321.7億ドルと前月から減少しました。同日発表された第2四半期のGDPが市場予想を上回り、ルピアは対米ドルでは買い戻し傾向となりました。ルピアは前週末比対米ドル、対円ともにやや下落しました。

2022/7/29	2022/8/5	変化率
0.8983	0.8940	-0.48%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&amp;G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。